

町立金山診療所が進む道

瀬尾副所長からのメッセージ

町立の医療機関である金山診療所。地域医療の提供は、町民の皆さんの「安心できる暮らし」を守る大切な存在でなくてはなりません。

しかし近年、利用患者数の減少などを理由に経営状態は厳しいものとなっています。また、看護師の定年退職が続くことが見込まれ、新たな運営体制づくりも急務。長期的な計画を軸に慎重な見通しを立て、医療サービスの存続に努めていきます。

なくてはならない町立金山診療所——。そうあり続

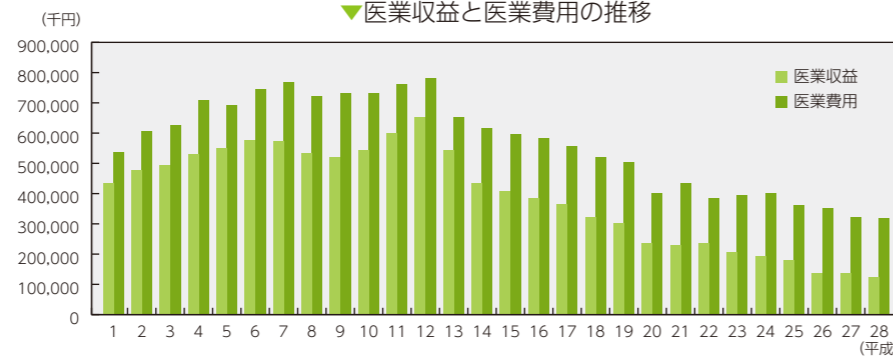
けられるよう、現在の診療所を改善する必要があると考えた瀬尾恭一副所長が、10月2日、診療所の全職員に向けて「宣言とお願い」を表明されました。

今年4月の着任から半年の勤務で感じた率直な思いが綴られています。地域に寄り添った医療の提供を本気で目指す瀬尾副所長のメッセージ。職員向けではありますが、今後の診療所の運営を考えるうえで、とても重要な内容です。この機会に町民の皆さんにもご覧いただきたいと思い、掲載させていただきました。

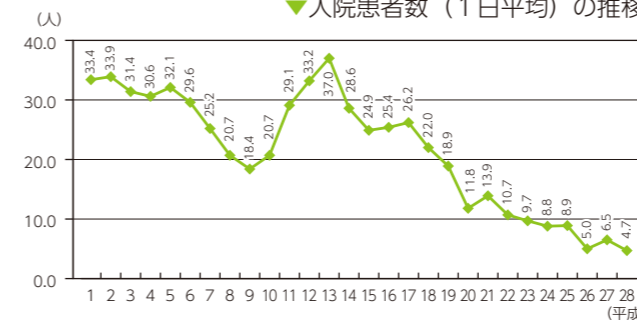
町立金山診療所改革の3つの柱

1. 家庭医療を軸とした「予防から入院、訪問診療」までのワンストップサービス化
2. 「予防接種、胃がん検診」の推奨などの予防医療への注力
3. 「入院・外来・訪問」全ての患者数の増加

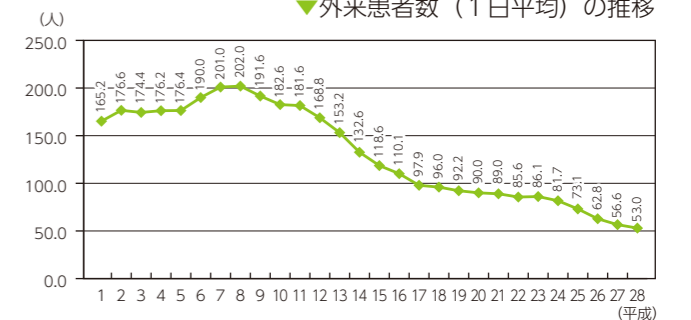
▼ 医業収益と医業費用の推移



▼ 入院患者数（1日平均）の推移



▼ 外来患者数（1日平均）の推移



医業収益とは、診療に関わる収益、保健予防活動や医療相談による収益など、医業サービスの提供によって得た収益。一方医業費用とは、医業サービスを提供するためにかかる費用。医業活動の収益性を示す医業収支比率【(医業収益÷医業費用)×100】が低下傾向にあることと、患者数の減少は密接な関係がある。

診療所に相談することなど、声かけをしてください。そして全職員が、毎月の利用状況に関心を持ち、特に外来受診患者数を意識して見てみるようにしてください。入院患者の増加も目標としますが、終末期患者に重点を置いて受け入れを増やすことを考えています。終末期とはがんと患者の終末期だけでなく、人生全般の終末期を意味します。このために何が出来るかは、職員各々が考えてほしいと思います。個人的には、県立新庄病院の先生方にも診療所への紹介などについてお願いしているところです。また、訪問診療の患者さんも増やしたいと思えます。外来受診が困難となってきた高齢の方々に、訪問診療という手段があるということを積極的に職員が声をかけてください。

職場の清潔感を持ってください。医療機関として清潔感があるのは大前提となります。一人ひとりが身近なところから整理整頓・清掃をよくしてください。また、今までもずっと使ってきたもの、カルテ、処方箋、説明用紙などが現代にあっているかどうかの意識を持って、必要に応じて改定や改善をお願いいたします。常に改定改善を繰り返して、診療のシステムの刷新を促進するようにしてください。

職員同士でフランクに言い合える関係づくりに努め、親睦の機会を定期的に設けましょう。

以上、大変おがましくもありますが、診療所職員全員に副所長として宣言とお願いをさせていただきます。職員の皆さんが自らの能力を最大限に発揮して診療所を動かしてください。ことを期待しております。

診療所は、職員一人ひとりの言動も常に見られています。受診をする際には、受付を通り、外来診療室に行き看護師と話をし、医師と話し、必要があれば検査に行き技師とも話を交わします。どこでつまづいても、もしかししたら患者さんのもう2度と来たくないと思うかもしれません。常に緊張感を持って職員

一人ひとりが診療所の顔であることを認識してください。自分だったらかかりたい診療所を目指しましょう。

町立金山診療所 副所長 瀬尾 恭一

今後のビジョンを明確にします。私は当診療所の体制として、家庭医療を軸に予防から入院、訪問診療までのワンストップサービスを目標とするを宣言します。地域医療を担う当診療所において、この点ができていくように

診療所職員全員の目標として外来患者数を増やすことを掲げます。このため、患者さんを中心として、多くの地域の方々に声をかけてください。何かあったらいつでも相談して良いこと、気になることがあったらまずは

私達が町立金山診療所に勤務して半年が過ぎ、当診療所の良い点や悪い点が様々見えてきました。これからは明確なビジョンを掲げ、当診療所の職員が一丸となって診療所を改善していく必要があると考えております。そこで、この機会にいくつかの宣言をすることも、職員の皆さんからのご協力を賜りたくお願いいたします。

まだ不十分だと考えています。今後のビジョンを実現するため3つの宣言をすることも、職員の皆さんにお願いがあります。町立金山診療所の組織を改革します。組織として今のような曖昧さをなくし、縦軸と横軸がしっかりとした組織にします。ただし、今のようなフランクな形も残した良い組織にします。予防医学に力を入れます。予防接種の推奨と、胃がん予防のためのピロリ菌の検査と除菌の徹底を図ります。予防接種をさらに推奨し、ワクチン接種に力を入れていくことを宣言します。予防のための接種をたくさんの方にしてほしいことを、こまめに呼びかけるようにしてください。胃がん予防のためにABC検診を推奨します。現在、当診療所を利用されている全ての患者さんがピロリ菌検査を実施したかどうか、チェックを徹底します。

町立金山診療所 副所長 瀬尾 恭一